

## 事業評価シート【新規事業-1】

事業名	冬の七夕まつり事業			基本計画	章	第5章 産業振興
事業コード					節	第5節 観光
課係名	商工観光課観光経済係	内線			項	第1項 観光資源の整備
担当者氏名		職名			細項目	

事業概要	「七夕のまち茂原」のPRと、年間を通して集客力を持つ観光資源を創出するため、冬の観光閑散期と言われる時期に「冬の七夕まつり」を実施する。
------	--

現在の課題や市民要望など	本年2月に実施した冬の七夕まつり開催後、新たな企画であった事から多くの市民から次回開催を期待されている。
--------------	--

事業目的	① 冬の新たな観光資源の創出 ② 新たな人の流れと出会いの場の提供 ③ 地域商店街と地域経済の活性化 ④
------	---

個別取組	① イルミネーションによる観光スポット ② 街コン開催による出会いの場の提供 ③ 六斎市とマルシェの開催による地域の活性化 ④ 商店街と連携したイベントの実施
------	--

事業による改善・変更点	① 四季を通した本市の観光資源の創出 ② ③ ④
-------------	-----------------------------------

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

内容	① 市民 ② 県内外観光客 ③ ④
----	----------------------------

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

内容	① 実行委員会等(名称未定)(H27) ② 茂原七夕まつり実行委員会(H28～) ③ ④
----	---

支出根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 法令要綱等名称 ① 茂原市補助金等交付規則 ② 茂原市観光事業補助金交付要綱 ③ ④
------	---

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
------	---	-------	--

事業費の積算	27年度	観光事業補助金(七夕まつり) 12,317,000円(支出済) もばら冬の七夕まつり(補正)5,000,000円 イルミネーション装飾 2,377,000円 イベント開催費 648,000円 会場リース 790,000円 広告宣伝費 775,000円 消耗品等 450,000円	事業費 5,000	事務スケジュール	年月	内容
			国 県		27・12	実行委員会等を設置
			市 債		28・1	実行委員会等を開催(2回)
			その他		28・2	2/1~2/14イルミネーション
			一般財源 5,000		2/14	イベント開催
	28年度	観光事業補助金(七夕まつり) 15,000,000円 【内訳】 茂原七夕まつり 10,000,000円 もばら冬の七夕まつり 5,000,000円	事業費 15,000			
			国 県			
			市 債			
			その他			
			一般財源 15,000			
29年度	観光事業補助金(七夕まつり) 15,000,000円 【内訳】 茂原七夕まつり 10,000,000円 もばら冬の七夕まつり 5,000,000円	事業費 15,000				
		国 県				
		市 債				
		その他				
		一般財源 15,000				

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値			
	名称			27年度	28年度	29年度	
	■活動指標	①	イルミネーション実施期間	日数	14日間	14日間	14日間
		②					
	■成果指標	①	来場者数	人数	7,500人	9,000人	12,000人
②							

### 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。</li> <li>・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	観光振興の充実と新たな人の流れの創出により、地域経済の活性化を図るものであり、総合計画に合致する。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図した成果は確実に得られるか。</li> <li>・類似の目的を持つ事業はないか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	年間を通じて集客力を持つ観光資源がないため、本事業は新たな観光資源の創出、地域の産業振興等を図る有効な手段である。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	イルミネーション(電飾)について、企業協賛や一般参加等により電飾の協力を募り、設置、管理及び撤去を依頼することができれば、経費削減の余地がある。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今実施しなければならない理由。</li> <li>・実施しない場合の問題点。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	平成28年2月の実施へ向け、早急な予算措置と実行委員会等の立ち上げが必要である。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう市民要望があるのか。</li> <li>・受益者負担は適正か。</li> <li>・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。</li> </ul>	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	本年2月に実施したところ、本市における観光閑散期におけるイベント開催でもあることから、多くの市民から次回の開催を期待されている。また、9月議会の一般質問においても、開催への強い要望があった。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述</li> </ul>	
<p>県内における冬の七夕イベントの開催実績は無く、以前開催していた山梨県富士河口湖町の冬の七夕は現在実施していないことから、全国でも珍しいイベントである。関東屈指の七夕まつりを開催している本市にとっては、大きなPRの場となる。</p>			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由 「観光資源の整備」は後期基本計画にも位置づけられており、必要性は認められるが、本来、3か年実施計画に位置付ける等、計画的な予算要求及び執行が必要である。 事業内容については費用対効果を勘案し、精査するとともに、受益者負担等の財源の確保に努めるべきである。
	B	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない
	■政策調整会議による評価	
	評価	◎評価理由 閑散期に集客効果のある観光資源を創出する事業であり、継続実施による定着を図るため、本年度から実施するものとする。 但し、財源の確保に努めるとともに、補助額等については財政課と十分に協議すること。
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない
■庁議による方針		
評価	本年度以降継続実施するものとする。 但し、平成28年度以降は七夕まつり実行委員会の事業に組み込んで実施すること。また、補助額等については財政課と十分に協議すること。	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	